

## 第12回 「教育講座②（特別支援教育）」

講座名：特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援  
～特別支援教育の観点を取り入れた学級経営、授業づくり～

開催日時：令和元年7月30日(火)  
10:00～11:45

場所：エスポワール愛媛文教会館  
2階 椿・藤の間



講師：愛媛県総合教育センター  
指導主事 鶴井 宏治 先生

参加人数  
39名



書く困難さの体験

擬似体験や演習を取り入れ、子どもの立場で考える大切さや、多くの具体的な支援の方法を教えてくださいました。特別支援教育における支援は、特別な支援が必要な子どもには、「ないと困る支援」であり、他の子どもにとっては、「あると便利な支援」である。どの子どもにとっても「あると便利な支援」を増やしていくことが大切であることがよくわかりました。



具体的な表現での伝え方を発表する



擬似体験  
「どんな文字が隠れているでしょう?」

### 参加者の感想

- 否定的な視点で捉えるのではなく、子どもの困り感に寄り添って捉え、どうすべきか考えなければならぬと感じた。具体的なお話で大変わかりやすく、2学期から活かしていきたいことがたくさんあった。
- 見通しを立てるための絵カードや指示カードの準備に手がかかるため疎かになり、つい言葉だけになってしまう。児童の気持ちを考えれば、手を抜いてはいけないことが確認できた。
- 擬似体験を通して子どもの困り感を体験できた。様々な子どもに対して配慮の大切さとその方法について学ぶことができた。